

木材ニューズレター

(財)日本木材総合情報センター
TEL03-3816-5595 FAX03-3816-5062

木材製品の荷動き・価格先行き動向調査(18年11月分)

1. 調査実施期間 平成18年 10月20日 ~11月10日

2. 調査実施方法

東京、大阪、名古屋の流通企業(問屋、仲買・小売商)に対し、FAXによりアンケート調査票を送受することにより実施した。

11月分の回答企業数は36社、回収率は63.2%である。

3. 判断指数の算出方法

各調査項目について以下の方法でウェイト・ディフュージョン・インデックスを算出した。

Weight. D. I. (ウェイト・ディフュージョン・インデックス) = { (「増加」の評価を行った回答の割合) × 2 + (「やや増加」の評価を行った回答の割合) - (「減少」の評価を行った回答の割合) × 2 - (「やや減少」の評価を行った回答の割合) } ÷ 2

したがって、この割合がゼロの場合はその増加と減少が等しいことを示し、プラスになるほど増加が多く、逆にマイナスになるほど減少が多いことを示す。

4. 調査結果の概要

(1) 荷動き動向

表-1 荷動き Weight. D. I.

		18/11月	12月	19/1月
仕入動向	国産材	△ 8.3	△ 8.3	△ 13.3
	外材	19.7	1.5	△ 4.5
販売動向	国産材	△ 10.0	△ 11.7	△ 10.0
	外材	1.6	△ 1.6	△ 6.3
在庫動向	国産材	△ 9.7	△ 11.3	△ 12.9
	外材	△ 9.4	△ 7.8	△ 12.5

仕入は、国産材マイナス幅を12~1月と若干大きくし横ばい弱含み。また外材は大きなプラスから一気にマイナスへ下落模様。販売は、国産材11~1月マイナスほぼ一定の推移で明るさ見えない。外材小さなプラスから小さなマイナスへとかげり気配。在庫は、国産材、外材ともマイナス基調で、横ばい弱含み。

(2) 価格動向

表-2 価格 Weight. D. I.

品 目	18/11月	12月	19/1月
スギ正角(グリーン)	8.0	6.0	4.0
スギ正角(KD)	18.8	16.7	8.3
ヒノキ正角	23.1	15.4	5.8
ヒノキ土台角	22.0	14.0	4.0
米ツガ正角(現地挽)	26.2	9.5	7.1
米ツガ防腐土台角	27.3	13.6	6.8
米ツガ割物(現地挽)	33.3	19.0	9.5
米マツ平角	32.6	19.6	8.7
北洋アカマツタルキ(現地挽)	52.3	43.2	22.7
ホワイトウッド集成管柱	54.5	36.4	19.0
レッドウッド集成平角	41.7	36.1	16.7
型枠合板(国産)	44.7	36.8	21.1
型枠合板(輸入)	45.2	33.3	19.0
針葉樹合板	57.5	47.5	27.5

スギ正角(グリーン、KD)プラス幅を若干縮めるが堅調。またヒノキ正角、土台は大きなプラス幅を大幅に縮めたが依然好調。米ツガ正角、防腐土台角、割物、米マツ平角はいずれも大きなプラス幅を大きく縮めたが強含み。北洋アカマツタルキ極めて大きなプラス幅を若干縮めるがかつてなく強い。WW集成管柱、RW集成平角は縮小しても大きなプラスで強さ継続。合板極めて大きなプラス幅、とりわけ針葉樹合板は一段の強さである。価格動向4ヵ月連続での全品目プラス幅(ゼロを含む)を継続している。

<参考>木材製品の荷動き・価格先行動向調査

(数値は回答に対する割合)

2006年11月14日発行

1. 荷動き

単位:%

品目		18/11月	12月	19/1月	
仕入動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	13.3	6.7	6.7
		横ばい	60.0	70.0	63.3
		やや減少	23.3	23.3	26.7
		減少	3.3	0.0	3.3
	外材	増加	9.1	3.0	0.0
		やや増加	30.3	12.1	12.1
		横ばい	51.5	72.7	69.7
		やや減少	9.1	9.1	15.2
		減少	0.0	3.0	3.0
販売動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	13.3	6.7	13.3
		横ばい	53.3	63.3	56.7
		やや減少	33.3	30.0	26.7
		減少	0.0	0.0	3.3
	外材	増加	0.0	0.0	3.1
		やや増加	25.0	18.8	12.5
		横ばい	53.1	59.4	56.3
		やや減少	21.9	21.9	25.0
		減少	0.0	0.0	3.1
在庫動向	国産材	増加	0.0	0.0	0.0
		やや増加	6.5	6.5	3.2
		横ばい	67.7	64.5	67.7
		やや減少	25.8	29.0	29.0
		減少	0.0	0.0	0.0
	外材	増加	0.0	0.0	3.1
		やや増加	15.6	12.5	3.1
		横ばい	50.0	59.4	62.5
		やや減少	34.4	28.1	28.1
		減少	0.0	0.0	3.1

2. 価格動向

品目		18/11月	12月	19/1月
スギ正角 (グリーン材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	16.0	12.0	8.0
	横ばい	84.0	88.0	92.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
スギ正角 (KD材) 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	37.5	33.3	16.7
	横ばい	62.5	66.7	83.3
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ正角 10.5×10.5cm ×3m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	46.2	30.8	11.5
	横ばい	53.8	69.2	88.5
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ヒノキ土台角 12.0×12.0cm ×4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	44.0	28.0	8.0
	横ばい	56.0	72.0	92.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0

品目		18/11月	12月	19/1月
米ツガ正角 (現地挽) 9.0×9.0cm 10.5×10.5cm ×3~4m	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	52.4	19.0	14.3
	横ばい	47.6	81.0	85.7
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ防腐 土台角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	54.5	27.3	13.6
	横ばい	45.5	72.7	86.4
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米ツガ割物 (現地挽)	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	66.7	38.1	19.0
	横ばい	33.3	61.9	81.0
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
米マツ平角	上昇	0.0	0.0	0.0
	やや上昇	65.2	39.1	21.7
	横ばい	34.8	60.9	73.9
	やや下落	0.0	0.0	4.3
	下落	0.0	0.0	0.0
北洋アカマツ タルキ (現地挽)	上昇	13.6	13.6	13.6
	やや上昇	77.3	59.1	18.2
	横ばい	9.1	27.3	68.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
ホワイトウッド 集成管柱 (5層国内産)	上昇	22.7	9.1	9.5
	やや上昇	63.6	54.5	19.0
	横ばい	13.6	36.4	71.4
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
レッドウッド 集成平角	上昇	11.1	5.6	5.6
	やや上昇	61.1	61.1	22.2
	横ばい	27.8	33.3	72.2
	やや下落	0.0	0.0	0.0
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (国産品)	上昇	5.3	5.3	0.0
	やや上昇	78.9	63.2	47.4
	横ばい	15.8	31.6	47.4
	やや下落	0.0	0.0	5.3
	下落	0.0	0.0	0.0
型枠用合板 (輸入品)	上昇	9.5	4.8	0.0
	やや上昇	71.4	57.1	42.9
	横ばい	19.0	38.1	52.4
	やや下落	0.0	0.0	4.8
	下落	0.0	0.0	0.0
針葉樹 構造用合板	上昇	20.0	10.0	10.0
	やや上昇	75.0	75.0	40.0
	横ばい	5.0	15.0	45.0
	やや下落	0.0	0.0	5.0
	下落	0.0	0.0	0.0

<モニターからのコメント>

- 米マツ一般材丸太では、大幅なフレート高から9月積み比 石400~500のコストアップは必至。問屋も値上げの強硬姿勢に入らざるを得ない。(東京:問屋)
- 価格の上昇率の大きいアイテムは頂上感が出る。その他は暫く強い気配が続くと思われる。(東京:問屋)
- スプルー市場は完全にカヤの外になっているが、競合品に比べ割安感から、一部に引合い増加の動きが見られる。ようやく薄日が差しそうな予感がある。(東京:問屋)
- 秋需本番だが川上主導での値上がりで顧客は上がったら上がったなりで、仮需がおきてこないのでは、動きはそこそこである。値上げ幅が大きいので先が怖い。(東京:問屋)
- 新規の仕入れ値と、現在の売値が殆んど同じ値になりました。(東京:問屋)
- ここ1カ月荷動きは最悪。見積り分以外は販売価格を上げている。値上げに対しクレームはない。但し仕入れの上昇ピッチと比べると遅いし、値上げ率は低い。(東京:仲買小売)
- 既に年末に差しかかっているので目立った動きはない。年内はこのまま推移していくものと思われる。型枠用合板を除いて落ち着いている。(東京:仲買小売)
- 輸入材は高価になっています。この先も良く分からない。(東京:仲買小売)
- 物不足と値上げの攻勢で、商売がますます やりづらくなっている。(東京:仲買小売)
- 合板価格も今月一杯にて高値安定になり、来年には少し下落するのではないのでしょうか。(東海:仲買小売)